

公認コーチ 1（軟式野球） 専門科目講習会カリキュラム

養成目的	各都道府県の登録チーム、地域スポーツクラブ・サークルにおいて、初心者や子どもたちを対象に軟式野球の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。
役割	発育発達期の子どもたちや初心者に対し、競技者育成プログラムに則り、様々な運動経験と軟式野球を通した身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。
受講条件	受講年度の4月1日現在満18歳以上で、全日本軟式野球連盟登録チームやスポーツクラブ等において軟式野球競技の指導にあたっている者。または指導者になろうとしている者。
カリキュラム	共通科目 I 45h 専門科目 20.5h（集合講習）
受講料	34,100円（税込）（共通科目 I：18,700円（税込） 専門科目：15,400円（税込）） 別途リファレンスブック代：3,300円（税込）
登録料(4年間)	10,000円（税込）（初回登録時のみプラス3,000円（税込））
更新研修	資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、全日本軟式野球連盟が定める研修または日本スポーツ協会(都道府県体育・スポーツ協会が実施する研修を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。

区分		カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	種目の特性 に応じた 基礎理論	①	指導者（コーチ1）の役割	1h	0h	1h
		②	軟式野球の歴史的発展	1h	0h	1h
		③	スポーツマンシップについて考える	1.5h	0h	1.5h
		④	安全対策（体罰・暴力根絶）	2h	0h	2h
		⑤	指導者のコーチング・コミュニケーションスキル	2h	0h	2h
		⑥	発育発達期の子どもへの指導（障害予防・水分補給）	2h	0h	2h
		⑦	アンチ・ドーピング	1.5h	0h	1.5h
		計		11h	0h	11h
2	実技	①	基礎技能 投手	1h	0h	1h
		②	基礎技能 打撃	1h	0h	1h
		③	基礎技能 守備	1h	0h	1h
		④	基礎技能 走塁	1h	0h	1h
		⑤	体力トレーニングとコンディショニング （ウォーミングアップとクーリングダウン）	1h	0h	1h
		⑥	現場における救急処置（AED、心肺蘇生法）	1.5h	0h	1.5h
		計		6.5h	0h	6.5h
3	指導・ コミュニケーション 実習	①	ジュニア選手の指導実習 （小中学生の指導・コミュニケーション手法）	2h	0h	2h
		②	グループディスカッション （コーチング・コミュニケーション）	1h	0h	1h
		計		3h	0h	3h
				20.5h	0h	20.5h